



千葉大学
CHIBA UNIVERSITY



京葉銀行

ニュースリリース

2026年4月3日
国立大学法人千葉大学
株式会社京葉銀行

学生の発想でSDGs企画を実施 「千葉大学×京葉銀行ecoプロジェクト」2025年度報告会

国立大学法人千葉大学の環境ISO学生委員会と株式会社京葉銀行（以下、京葉銀行）は、2017年度よりSDGs達成に向けて、協同でecoプロジェクトを実施しています。3月17日に、2025年度の活動を振り返る実施報告会を行いました。

■本プロジェクトについて

名 称：千葉大学×京葉銀行ecoプロジェクト ～7色の虹を千葉から未来へ～
目 的：産学連携というパートナーシップのもと、気候変動をはじめとする地球環境問題の解決に向けたSDGsの達成に寄与していくとともに、地域の環境負荷削減と環境意識向上に貢献する。
主 体：千葉大学環境ISO学生委員会、京葉銀行
開 始：2017年7月
公式サイト：https://www.keiyo-bank.co.jp/ir/eco_project/



■2025年度実施報告会

< 報告会 >

日 時：2026年3月17日（火）15:00～16:00

場 所：京葉銀行 2 階 α ガーデンホール

報告対象者：京葉銀行 藤田剛頭取
千葉大学 横手幸太郎学長

内 容：2025年度に取り組んだ企画についての成果報告
報 告 書：https://www.keiyo-bank.co.jp/sustainability/environment/chiba-u_project/pdf/report2025.pdf



報告会の様子

■2025年度プロジェクトリーダーの学生の声

2025年度は2名体制でプロジェクトリーダーを務め、継続性を意識した運営に取り組みました。特に「Let's Study SDGs」の活動をはじめとする取り組みが評価され、表彰や発表の機会を通じて多くの学生が成長できた点は大きな成果でした。一方で、年度当初の立ち上げの遅れや体制面の課題により、一部企画の進行が難航したことは反省点です。これらの経験を踏まえ、次年度に向けた引継ぎと改善を進めてまいります。3年間の活動への感謝とともに、今後のプロジェクトのさらなる発展を期待しています。

法政経学部 4 年 古賀 貴太

2025年度は新たな3つの企画を立ち上げることができ、京葉銀行をはじめとする関係者の皆さまに学生が挑戦できる貴重な機会を提供していただきました。一部の企画に遅れはありますが、全体的にメンバーが主体的に企画を推進し、成果を形にすることができました。本年度はより、社会に貢献できるプロジェクトとなるよう、引き続き活動してまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

法政経学部 3 年 佐藤 隼斗

■報告内容

2025年度は62名の学生がプロジェクトに参加し、さまざまな経験を積むことができました。

1) 京葉銀行による学生委員会の環境活動支援

千葉大学の協定校であるマレーシア国民大学への派遣プログラムを実施できたほか、国際会議や国内会議に学生を派遣することができました。

2) 学生による「エコアクション21※」取得コンサルティング

京葉銀行の取引先企業に対し、学生が企業の「エコアクション21」取得のコンサルティングを行っています。2025年度は日本サニティション株式会社の認証登録が完了しました。

※環境省が策定した環境マネジメントシステムのガイドラインで中小企業を主な対象とした規格です。

3) 学生発案の7つの環境貢献企画

地域の方や企業の方など幅広い層に対して、SDGsや環境意識の啓発を行う企画です。

① Let's Study SDGs

小学校の放課後学童クラブ等を対象に、SDGsに関するレクチャーと工作ワークショップを行う企画です。2025年度は千葉市の協力を得て、9校の学童クラブ等で実施しました。

② こどもエコまつり

子どもたちに環境について考える機会を提供するイベントを実施する企画です。2025年度は2回実施し、たくさんの方に来場していただきました。

③ 古着市

古着を京葉銀行の行員や学生、教職員や地域の方々等から集めて地域住民に販売する企画を実施しました。2025年度は年間通じて5回開催し、約550人の方にご来場いただき、165着をリユースすることができました。

④ ダイバーシティ企画

2025年度は前年に続き「発達障害」をテーマに理解を深める企画を行い、京葉銀行の行員向けや一般学生向けに講習会を実施しました。

⑤ 紙芝居企画<New>

過去に環境ISO学生委員会の企画で作成した紙芝居をリニューアルし、製本化しました。本年度は贈呈および読み聞かせ上演会を実施予定です。

⑥ バリアフリー企画<New>

多くの人にバリアフリーについて知ってもらう機会を増やしたいとの思いから、この企画を発足しました。バリアフリーに関するクイズを通して、街なかのハード面のバリアフリーについて知ってもらったうえで、車いす体験を行いました。

⑦ 高齢者向け企画<New>

環境ISO学生委員会の取り組みを高齢の方々へも広げるとともに、ユニバーサルスポーツであるボッチャの体験を通して福祉教育の場を設け、高齢者と学生が交流する機会の創出を目的とした企画です。ボッチャ体験会は4月実施する予定です。

4) 交流会の実施

ecoプロジェクトを実施している主体である学生委員会と京葉銀行の交流を図ることと、学生の金融教育を目的に8月に交流会を実施しました。金融講座「投資の本質を知り実践に活かそう」と題し、デスクワークに留まらない、実践的な投資を学生に体験させていただきました。

